

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島町瀬戸口24
電話2-9772

今回は島前の各町村教育委員会派遣指導主事が、それぞれの町村で取り組んでいる教育活動について報告します。

■海士町■

海士町では各学校で策定された「指導主事を活用した授業力向上策」に基づき、日常的に授業公開が行われていきます。国語や算数の授業はもちろんですが、一人一回は必ず道徳の授業を公開するといったように、それぞれの学校が課題に応じ、工夫しながら派遣指導主事訪問の機会を活用しています。

また、保育所から高校までの連携教育を掲げ、その中で「島まる」ことで人間力を育む教育に取り組んでいます。九月には研修会を開催しました。小中学校の全教職員が対象でしたが、当日は高校関係者、教育委員会スタッフをはじめ、町内の教育関係者が多

数集まる会となりました。

島前地域教育魅力化コーディネーター 中川寛敬氏、隠岐国学習センター長 豊田庄吾氏、隠岐国学習センタースタッフ 中山 隆氏ら講師の方には文部科学省のめざす教育の行方、大学入試改革の動向、グローバル教育のあり方などをテーマに話していただきました。

研修会後半では、「二〇五〇年の海士町はどのような町であってほしいか」というテーマについて、校種を交えて話し合いました。「ワールドカフェ」
という話し合いの手法を取り入れ、軽い飲み物やお菓子も用意し和やかな雰囲気の中での研修会となりました。



日々の授業改善の取組と国や県・町の動向を踏まえた取組のバランスを取りながら、海士町は教育のレベルアップを図っています。

(海士町 坂田 幸義)

■西ノ島町■

西ノ島町では昨年度から県の小中連携キャリア教育推進事業の指定を受け、小中学校が一緒になってキャリア教育に取り組んでいます。

今年度は全体計画や年間指導計画を見直し、西ノ島町立学校の教職員で組織した「学

力向上部会」「生き方学習部会」「連携部会」を活性化させ、実践に移しています。ふるさと西ノ島体験活動や社会見学、中学校における職場体験学習、キャリア教育の視点を取り入れた授業を行うことを通して目指す能力や態度を児童生徒につけようと考えています。

また、近隣市町村から様々な職種の講師を招き、生き方学習を開催しています。様々な講師の生き方に触れ、自分らしい生き方を実現していくこと

の意義や必要性を理解してほしいと思っ



「知夫里島学び舎構想」の具現化に向けて、村全体で子供を一貫して育てていくという視点で、家庭・地域と連携しながら学校教育を進めています。

【保小中一貫教育の推進】

小中学校の職員室が一つになり、小中それぞれの文化(風土)のよさを理解し、教職員が同じ方向を向いた取組が行われるようになりました。保小中の子供たちの様子や支援のあり方などの情報を共有し、よりよい一貫教育をめざしています。

【学力育成の取組】

授業改善による学力育成を図るため、学校では授業公開が盛んに行われています。また、基礎学力の定着のために、小中学校とも漢字や計算練習に取り組む時間を毎日設定しています。

小学校ではそろばん学習、中学校では英語・漢字検定にも積極的に参加しています。そして家庭と連携し、家庭

学習の充実に向けての取組を進めています。



【地域との連携】

子供たちの体験活動の充実や活動のねらいの達成に向けて、社会教育関係者との連携を密にし、様々な教育活動が地域とつながっていくように支援を行っています。

知夫村では子供たちの多くが十五歳で島を離れていきます。「生きる力をしっかりと身に付け、豊かな心とたくましさを持って未来を切り拓いていく子どもの姿」が、学校・家庭・地域の強い願いです。

今後も社会教育との連携をさらに充実させ、「知夫ならではの魅力ある学校教育」を進めていきたいと考えています。(知夫村 田村 雅史)